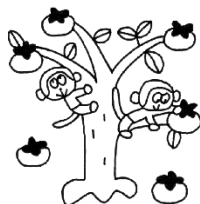




11月 ほけんだより

虹のこころ保育園



日中のぽかぽかとしたお日さまがより暖かく感じられる程の朝晩の冷え込みに秋を感じるようになりました。様々な感染症が流行る季節になりました。手洗い・うがいを徹底し、規則正しい生活を送るよう心がけ、感染症を予防していきましょう。



これから流行しやすい感染症



※すべて登園届、登園許可書が必要となります

水ぼうそう

昨年は9月末から11月中旬まで水疱瘡が流行し21名が感染しました。今年も注意が必要です。潜伏期間が2週間程度あり症状は、発熱(ない時もある)・小さな発疹が急に全身に広がる・体幹部に多く、頭皮にも及ぶのが特徴です。

RSウイルス

当園でも今年の7月に流行し29名が感染しました。症状が風邪と見分けがつきにくく感染が広がりやすいことが特徴です。咳が長引くと細気管支炎、肺炎へと進展することがあります。



溶連菌感染症

溶連菌も風邪との見分けがつかないことが多いです。高熱の他に強い喉の痛み、全身に痒みを伴う発疹、イチゴ舌などの症状が出る事があります。

インフルエンザ

38度以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など、全身症状が突然現れます

感染性胃腸炎

当園でも今年の5月末から6月中旬まで流行し31名が感染しました。子供の嘔吐や下痢は、ロタウイルス、ノロウイルスの感染によるものが半数にのぼります。これらのウイルスは感染力が強く、便や吐物と一緒に排出されたウイルスが、人から人へと感染していきます。



感染拡大防止のお願い



突然の高熱・全身症状(下痢・嘔吐含む)などが出たら、**必ず受診をして下さい**。嘔吐や下痢があった場合、感染拡大予防の点から汚染衣類を洗わずに返却させて頂きます。また、保育園は集団生活の為ご兄弟が感染した場合、そのご兄弟も感染している可能性があると考え、家庭保育をお願いしております。

嘔吐や下痢が出た場合、いつもどおりの食欲があり普段の便が確認でき全身状態が良好になるまで、登園はできません。

また、前日に38度以上の発熱がみられた時はお子さんの抵抗力がおちて、体の負担となります。解熱剤を使用せず、丸一日平熱で過ごせたこと、全身状態が良好なことを確認してからの登園をお願いしております。

感染症の場合は登園許可書の登園の目安をご確認ください。

全身状態不良、または症状がある状態で登園されると、感染が広がることや症状の再燃が懸念され、お子さまに負担がかかってしまいます。

子どもたちが元気に過ごせるように、保護者のみなさまに感染拡大防止のご理解とご協力をお願いします。

体に貼る薬を使用している場合

気管支拡張剤などの体に貼るタイプの薬を使用している場合は、**薬に名前を書き、体に貼付している事を必ず担任に知らせて下さい**。

ほけん行事

内科健診	24日 9時~(0歳クラスから)
身体測定	10.11日 幼児クラス 17.18日 乳児クラス 詳細は当日のホワイトボードをご確認ください
頭髮検査	1.15日
歯磨き指導	22日 9時30分~(3, 4, 5歳の順)

